

マタイの福音書
聖書講解シリーズ
35) イエス様に従うこと
マタイ 8:18-22
2019.12.8 HKJCF

1

概観

らい病、中風、熱病を癒され、悪霊を追い出されるイエス様に対して、ご利益主義に陥らないように、この話が挿入された。

アウトライン

- | | |
|--------------|--------|
| 1. 群衆の信仰 | V18 |
| 2. 律法学者の信仰 | V19-20 |
| 3. ひとりの弟子の信仰 | V21-22 |

2

1. 群衆の信仰 V18

- 群衆：説教を聞いて、癒しを受ける。興味を持っているが観察と理解の段階。
- 回りにいる：吸い取られていく疲労感；主の前に静かになる重要性（マルコ 1:32-35）。
- 向こう岸に行く：異邦人の地域（V28）。その前に、激しい突風に遭った（マルコ 4:35-37）。
- ご利益的な信仰：奇蹟や祝福ばかりを求めるリスク；信仰の対象→イエス様。
①自分の罪 ②サタンの働きに対する理解。

3

2. 律法学者の信仰 V19-20

- 律法学者：学者を辞め、弟子入りして十分と勘違いした。皆が弟子：一部だけ職業的にフルタイムで献身する。立候補⇒召命。
- ついてまいります：どういう生活になるのか分からぬで、安易に発した言葉。
- 苦難が伴う生活：「枕するところもない」；人の子にふわしくない（ダニエル 7:13-14）。
- 中途半端な信仰：調子に乗り、働きの人気や注目に惹かれ、終身的に考えていない。

4

3. ひとりの弟子の信仰 V21-22

- ひとりの弟子：すでに従う決心をした人；故郷を離れ、遠出する決心ができる。
- まず行って、父を葬る：優先順位の問題；死ぬまで待ってほしい。福音宣教⇒親孝行。
- 死人たち：靈的に死んでいる人に任せる；靈的に命にあずかっている人→イエス様に従え。召命を受けたら全き献身が求められる。
- 打算的な信仰：細かく計算しづきて、臆病で心配性→主にゆだねていくように。

5

適用

①競走を忍耐をもって走りつづけよう：
教会という共同体の中で、同じ救い主を信じる信仰の先輩と兄弟姉妹と共に、信仰生活を歩みつづけるように（ヘブル 12:1）。

②イエス様を見上げつづけよう：
楽な道は約束されていないが、傷を受け、苦難に遭うが、目的のある道は保証されている（ヘブル 12:2）。

6